

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成29年4月

福井県知事 西川 一誠
土木部長 辻 義則

29年度の施策

1 美しい県土、楽しく便利なまちの形成

◇高速交通ネットワークの完結促進【部局連携】

○中部縦貫自動車道の整備促進

- ・大野油坂道路については、北陸新幹線敦賀開業に合わせた全線開通を国に強く要請します。
- ・大野油坂道路の大野東～和泉間については、平成30年度の和泉トンネル（仮称）工事の着手を国に要請し、早期整備を目指します。
- ・大野油坂道路の和泉～油坂間については、残る用地取得を進めるとともに取得が完了した区間の工事着手を国に要請し、早期整備を目指します。
- ・大野油坂道路の大野～大野東間については、早期整備を目指し、用地取得の着手および道路設計の実施を国に要請します。

○若狭さとうみハイウェイの機能強化

- ・ 定時性や安全性の確保のため、舞鶴西～敦賀間の4車線化を国と高速道路株式会社に要請し、早期着手を目指します。
- ・ 三方五湖スマートインターチェンジの整備促進を国と高速道路株式会社に要請し、平成29年度内の確実な開通を目指します。

交流拡大施策

- ・ 県内外のイベントにおいて時間短縮効果などの利便性向上の情報発信を行い、若狭さとうみハイウェイの利活用促進を図ります。

交流拡大施策

- ・ 舞鶴若狭自動車道西紀サービスエリアから北陸自動車道南条サービスエリアまでのガソリンスタンド空白区間の路外給油サービスの実施を国と高速道路株式会社に要請します。 **交流拡大施策**

◇道路・港湾の重点整備と利用促進【部局連携】

○主要道路・県境道路の整備

- ・ 県民の安全と利便性、地元や市町の協力体制なども考慮し、優先度をつけて計画的に整備を進め、福井しあわせ元気国体の競技会場にアクセスする福井鯖江線などを供用します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
主要道路・県境道路 の整備（累計）	1箇所	5箇所	9箇所	13箇所

- ・ 福井港丸岡インター連絡道路については、用地取得を進めるとともに、工事に着手し、事業の推進を図ります。
- ・ 北陸新幹線と一体的に整備する福井森田丸岡線については、新九頭竜橋の下部工事を進め、上部工事に着手します。
- ・ 北陸新幹線の南越駅（仮称）と国道8号を、敦賀駅と国道8号バイパスをそれぞれ結ぶアクセス道路については、測量、設計、用地買収等を進めます。
- ・ 国道8号福井バイパスのあわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女間については、全区間において工事を促進し、福井しあわせ元気国体までの一日も早い供用を目指します。
- ・ 国道8号南越前町大谷～敦賀市田結間バイパス等の整備については、特に対策が急がれる区間（敦賀市挙野～田結間）の概略ルートの検討等を国に要請し、早期の事業化を目指します。
- ・ 県境道路である国道417号冠山峠道路については、岐阜県とともに工事促進を国に要請し、北陸新幹線敦賀開業に合わせた開通を目指します。

○敦賀港・福井港の機能強化と貿易拡大

- ・ 敦賀港では、鞠山南地区国際物流ターミナルの機能を強化するため、国の岸壁整備スケジュールに合わせた埋立工事を進めます。
- ・ 九頭竜川からの流入土砂対策として福井港北防砂堤の整備を進めます。

◇電車・バス・自転車の利活用拡大【部局連携】

○福鉄・えち鉄の高機能化

- ・えちぜん鉄道の高架化工事について福井駅、福井口駅などの駅舎や電気、軌道などの開業設備の工事を進め、福井しあわせ元気国体までの確実な完成を目指します。

○サイクリングコースの計画的整備・延伸

- ・観光拠点や眺望ポイントをめぐる道路に自転車マークなどの路面標示を行い、サイクリングコースのネットワーク化を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
サイクリングコースの整備(累計)	189km	210km	240km	258km

2 原子力・エネルギーの確かな将来展望と地域振興

◇「安全最優先」の原子力行政【部局連携】

○原子力災害制圧道路等の整備促進

- ・舞鶴野原港高浜線（高浜町神野～難波江間）のトンネル工事に着手するとともに、竹波立石縄間線のトンネル（敦賀市立石）と赤礁崎公園線のトンネル（おおい町犬見～大島間）の掘削工事の完了を目指します。

3 日本一の安全・安心（治安充実から治安万全へ）

◇あらゆる災害対応を迅速第一【部局連携】

○除雪対策の徹底

- ・パトロール、支障木の事前伐採、国、高速道路株式会社等との情報共有のための会議の開催および現地での想定訓練など、これまでの大雪時の課題に対する除雪対策を11月までに進めます。
- ・交通の要所である敦賀市～越前市間の高速道路および国道において、除雪体制の充実・強化を図ります。
- ・緊急医療施設周辺道路、最重点除雪路線、緊急輸送道路などについて順次消雪施設を整備します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
消雪施設の整備(累計)	349km	352km	356km	359km

○インフラ施設の長寿命化対策

- ・定期的な点検結果に基づき橋梁、トンネル、ダム、河川の排水機場、砂防施設、下水道施設、港湾施設などの維持・補修を行い、長寿命化対策を進めます。

○足羽川ダムの建設促進

- ・足羽川ダムについては、工事用道路と仮排水路トンネルの整備を進め、早期にダム本体工事に着工するよう国に強く要請し、平成38年度の完成を目指します。

○河川の災害対策

- ・河内川ダムについては、本体コンクリート打設や小水力発電施設の整備を進め、事業の推進を図ります。
- ・吉野瀬川ダムについては、用地取得を進めるとともに付替えの必要な県道武生米ノ線の整備を進め、事業の推進を図ります。
- ・浸水被害が発生した河川、想定氾濫区域内に家屋が集中している河川などを重点的に整備します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
河川の重点的整備 (累計)	990m	2,650m	3,650m	4,300m

- ・迅速な住民避難につながる情報提供を行うため、洪水により甚大な浸水被害が生じるおそれのある河川に監視カメラを増設します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
監視カメラの増設 (累計)	18箇所	20箇所	23箇所	25箇所

○土砂災害対策の推進

- ・土砂災害警戒区域において土砂災害から保全する地区を増やすため、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設などの整備を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
土砂災害対策施設の整備 (累計)	973地区	977地区	982地区	988地区

- ・迅速な住民避難につなげるため、市町と連携し土砂災害を想定した避難訓練を継続して実施します。
- ・防災意識の向上のため、住民を対象とした土砂災害講習会や小学生を対象とした防災出前授業を開催します。

○空き家対策の強化

- ・中古住宅の流通を促進するため、ふくい空き家情報バンクへの登録を促します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ふくい空き家情報 バンクへの登録	102戸/年	226戸/年	200戸/年	200戸/年

◇「安全・安心ふくい」確立プラン【部局連携】

○通学路や高齢者の安全確保

- ・自転車利用者や歩行者の安全を確保するため、市町の教育委員会や警察署と協議し、自転車安心通行帯の整備を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
自転車安心通行帯 の整備（累計）	12km	17km	24km	30km

4 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

◇日本一の「結婚・子育て応援社会」【部局連携】

○ふくいの住まい総合支援

- ・移住者の定住、子育て世帯の住環境向上、多世帯の同居・近居に必要なとなる一戸建て住宅の購入、リフォーム工事への助成を行います。

交流拡大施策

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
住宅購入、リフォー ム工事への助成	65戸/年	157戸/年	120戸/年	120戸/年

5 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

◇景観を県民資産に【部局連携】

○「わがまち景観」の保全・継承

- ・道路周辺の景観を改善するため、道路標識柱等の集約化を行うとともに、標識の撤去を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
道路標識等の集約化・撤去(累計)	14箇所	39箇所	54箇所	70箇所

- ・福井しあわせ元気国体の開催や北陸新幹線の県内開業に向け、観光地や街並みなどの良好な景観づくりを推進するため、屋外広告物条例等の改正により基準に適合しなくなった広告物について、広告主や広告事業者による撤去・改修を更に進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
屋外広告物の撤去・改修(累計)	-	49件	460件	800件

- ・福井しあわせ元気国体に向け、歩行者、自転車利用者が多く、十分な滞留スペースがない福井市のまちなかの交差点において、角地の空き地を休憩場所や緑化スペースなどの快適な空間として有効に活用します。
- ・足羽川において水辺に親しむイベント、川遊び、釣り体験などの親水活動の定着を図るとともに、史実に近い和舟による毛矢の操舟体験を実施します。**交流拡大施策**

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
足羽川での親水イベント参加者	6,060人/年	7,000人/年	7,100人/年	7,200人/年

- ・北陸新幹線等大型工事により生じる建設発生土の搬出入状況の確認を行うとともに、想定している土量、土質、時期などの変更に対応した需給調整を行い、土砂採取による山の切り崩しを抑制し景観を保全します。

- ・福井しあわせ元気国体に向け、競技会場やアクセス道路、鉄道から見える河川において、伐木、浚渫を重点的に実施するとともに、浚渫土砂の工事間流用や土質改良を行い、有効活用を図ります。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
河川の伐木	4km/年	4km /年	11km /年	11km /年
河川の浚渫	4万 m ³ /年	4.1万 m ³ /年	4.5万 m ³ /年	4.5万 m ³ /年

- ・福井しあわせ元気国体に向け、競技会場へのアクセス道路において、植樹柵の修繕や舗装補修等を行うとともに、地域住民や企業等との共働により、道路の除草や植栽を行う道守活動を推進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
道守活動団体	64団体/年	64団体/年	80団体/年	80団体/年

○無電柱化の推進

- ・景観の向上や防災の観点から、電力事業者や通信事業者の理解を得ながら、電線の地中化などによる無電柱化を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
無電柱化（累計）	17.0km	18.0km	19.2km	20.2km

- ・災害時の緊急輸送に必要な道路について、道路法に基づき電柱の新設を抑制する区間の指定を進めます。

○三里浜緑地の利活用推進

- ・身近に緑豊かな自然を楽しめるよう、樹林地内の下草刈りや枝打ちにより緑地内の見通しをよくするなどの環境改善を行い、地域住民等に親しまれ、利用しやすい環境づくりを進めます。
- ・健康づくりのためのウォーキングや自然学習の場として自然観察会などを開催するほか、「道の駅」などと連携した利活用を進めます。

◇低炭素のまちづくり推進

○環境に調和した研究の推進

- ・交差点等の効率的な融雪を実現するため、炭素繊維を活用した融雪技術の開発を進めます。

6 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略

◇観光フロンティア・福井【部局連携】

○100万人観光地の創出

- ・「道の駅」をより魅力的な観光や地域振興の拠点とするため、スタンプラリーの実施や「道の駅」が共同で開催するイベントへの支援等を行い、利用客の拡大を図ります。**交流拡大施策**

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
「道の駅」の利用客	380万人/年	450万人/年	455万人/年	460万人/年